



西村 豊  
リシュモン ジャパン  
取締役社長

経済同友会 つながる▶▶  
リレートーク  
#211

## 始球式



企業として、立地する地元との関係はどうあるべきか。2000年に海浜幕張に会社を立ち上げてからの課題であった。自社は、テレビ通販専門チャンネルを持っており、24時間生放送をして、24時間運営のコールセンターで注文を受けている。シフト勤務者も多く、さらに配送センターを佐倉市に建てたので、社員の9割は千葉県に在住している。

2010年の社員大会で、千葉ロッテマリーンズの球場が命名権を募集しているので応募してほしいと、女性社員から声が上がった。千葉市が所有する球場の命名権を獲得するのも、企業市民として一つの地元貢献だと思い、応札することを決めた。入札案件になると商社マン魂に火がついて、スタッフと考え抜いた条件で札を入れた。その結果、自社が命名権を取得することができた。名前をどうするか。企業名を冠にしている米国の球場が多く使っている「フィールド」を入れたいと思った。シアトルのセーフコ・フィールドは日本人にもなじみが深い。「QVC マリンフィールド」と申請し、今では、「QVC マリン」といわれて親しまれている。

球場名の発表後、オープン戦の始球式に出ませんかと球団からお誘いを受けた。引き受けてからは、会社の野球クラブのメンバーと昼休みに近くのグラウンドに行って練習をした。空地のある幕張は地の利がある。オープン戦前日に練習して会社に戻ってきたとき、急にビルが大きく揺れた。2011年3月11日の東日本大震災であった。オープン戦もすべて中止になった。

ところが、4月に延びた開幕戦の始球式に出ませんかと再度お話をいただいた。もともとは千葉県知事が登板予定であったが、千葉も被災県であるために辞退され、私にお鉢が回ってきたようだ。開幕の対戦相手は、東北楽天ゴールデンイーグルス。当日は、多くのマスコミや開幕戦を待ち焦がれたファンが詰め掛け、当日券も売り切れるほどであった。嶋基宏選手会長の「東北魂をみせるぞ!」という言葉に感動している中、始球式が始まった。バッターには松井稼頭央選手、緊張で頭が真っ白になるという意味がやっと分かった。果たして、始球式のボールはホームベースの前をワンバウンドして里崎智也捕手のミットに入った。ベンチに戻ると、球団社長から「フォークを投げましたね」と慰めの言葉をもらって、私の始球式は終わった。

▶▶ 次回リレートーク

久野 正人  
エム・シー・ジー  
代表取締役